



# HÔTEL DE CRILLON

オテル・ドゥ・クリヨン

[www.jhrca.com/worldhotel?cat42](http://www.jhrca.com/worldhotel?cat42)

<https://www.facebook.com/yasubiro.obara.16>

世界にはまだまだ日本人が訪れていないホテルがある。このコーナーではホテリアが知っておくべき「世界のリーディングホテル」を紹介する。

これまで多くのホテル紹介本が出版されてきたが、そのほとんどが現地のホテルと事前に取材の連絡を取り合い、プロのカメラマンや通訳、そのほか大勢を連れ立っての大名取材であり、宿泊は省略といったことも多々であった。本連載では、著者自身が長年にわたる個人旅行中に自分の目で感じ取り、コメントを書き込み、自分のカメラで思いのままを撮ってきた写真を掲載する。



筆者 **小原 康裕**

国際ホテルジャーナリスト

慶応義塾大学法学部法律学科卒。74年 Munich Re 入社。

2001年投資顧問会社原健設立、代表取締役 CEO。

JHRCA、日本ホテルレストランコンサルタント協会理事。

[www.jhrca.com/worldhotel](http://www.jhrca.com/worldhotel)

<https://www.facebook.com/yasubiro.obara.16>

現在、筆者のホームページで「世界のリーディングホテル」を連載中。

多くの美しい写真と興味深いコメントで、世界中のホテルとそれら関連都市を紹介。



コンコルド広場に威風堂々と建つオテル・ドゥ・クリヨン「Hôtel de Crillon, A Rosewood Hotel」



*Hôtel de Crillon, A Rosewood Hotel*

パリの中心部、コンコルド広場にパリ屈指の名門ホテル「ホテル・ド・クリヨン」が2013年から2億ユーロ(約270億円)と4年間を費やした大リノベーションを完了し、昨年7月5日にオープンした。建物は1750年代に建設され約260年の歴史を誇り、パリ市の重要文化財にも指定されている。ホテル創業は1909年。1919年には国際連盟設立に向けた最初の準備会議が開催された貴重な歴史的建造物である。豪壮なコンコルド広場に面した宮殿ホテルであり、過去には世界中のVIPが宿泊している。マネージメントはRosewood Hotels & Resortsで、正式名称は“ホテル・ド・クリヨン・ア・ローズウッド・ホテル”「Hôtel de Crillon, A Rosewood Hotel」となる。

クリヨンはルイ16世とマリー・アントワネットの夢の跡。今回の改装にあたっては歴史の重みとアーバンコンテポラリーなデザインがほどよく調和している。そこには大いなる影響をもたらした3人の著名インテリア・デザイナーの存在がある。Tristan Auer, Chahan Minassian, Cyril Vergniolの3デザイナーで、総指揮をしたのは著名なアート・ディレクターのアーリーヌ・アスマー・ダマンである。また、ゲスト・デザイナーには、カール・ラガーフェルドが迎えられた。どの部屋もベッドリネンなどには最高級の素材が用いられ、バスアメニティーにはジュリー“Buly1803”が並べられるなど最高の気遣いだ。

クリヨンは78の一般客室に36のスイート、そして10のシグネチャー・スイートを擁して再び華麗な姿で蘇った。今回はシグネチャー・スイートの「Suite Bernstein」を紹介したい。クリヨンを愛した著名な音楽家レナード・バーンスタインの名を冠したペントハウススイートで、コンコルド広場に面したテラスからエッフェル塔も望める。新設されたガストロノミー・レストラン「L'Ecrin」は、ヘッドシェフChristopher Hache率いる気品あるフレンチ・クイジーヌだ。これまでのメインダイニング「Les Ambassadeurs」はバー&ラウンジとしてその名を引き継いでいる。

今回の再オープンに合わせてスタッフ数百人分のユニフォームも刷新され、新進デザイナーのHugo Mathaの作品を採用しホテルゲストからも好評だ。スパ施設「SENSE, A Rosewood Spa」には華麗なスイミングプールがあり、ヘアサロン「Hair Salon by David Lucas」、メンズグルーミングとしてバーバー「The Barber, by La Barbrière de Paris」やシューシャイン・サロン「Shoe Care Salon, by DEVOIRDECOURT」など用意。新生クリヨンには見所が満載で飽きることはない。



- ① MOFの称号を誇るパティシエ、Jérôme Chaucesseのスイーツが楽しめるラウンジ「ジャルダン・ディヴェール」「Jardin d'Hiver」
- ②これまでのメインダイニング「Les Ambassadeurs」は、バー&ラウンジとしてその名を引き継いでいる
- ③夜間はライトアップされ、壮麗な正面ファサードが浮かび上がる
- ④ドアマンが常駐する正面エントランス
- ⑤かつてのチェックインデスクが廃止され、優雅なレセプションルームが新設された



①



②



⑦



③



④



⑧

- ① 「マリー・アントワネットの間」のテラスから見上げる荘厳な天井装飾
- ② 「マリー・アントワネットの間」のテラスから望むコンコルド広場全景
- ③ 華麗な「マリー・アントワネットの間」 「Solon Marie Antoinette」
- ④ 豪壮な雰囲気のある「鷲の間」 「Salon Aigles」
- ⑤ バー＆ラウンジ 「Les Ambassadeurs」のバーカウンター
- ⑥ パリでも屈指の美しさを誇るコートヤード

- ⑦ 新設されたガストロノミー・レストラン「レクラン」 「L'Ecrin」。
- ヘッドシェフ Christopher Hache 率いる気品あるフレンチ・クイジーヌだ
- ⑧ 名ソムリエの Xavier Thuizat らが最高の料理を盛り上げる
- ⑨ 至高の時が流れるディナー風景
- ⑩ 底がない変形のシャンパングラスが興味をそそる

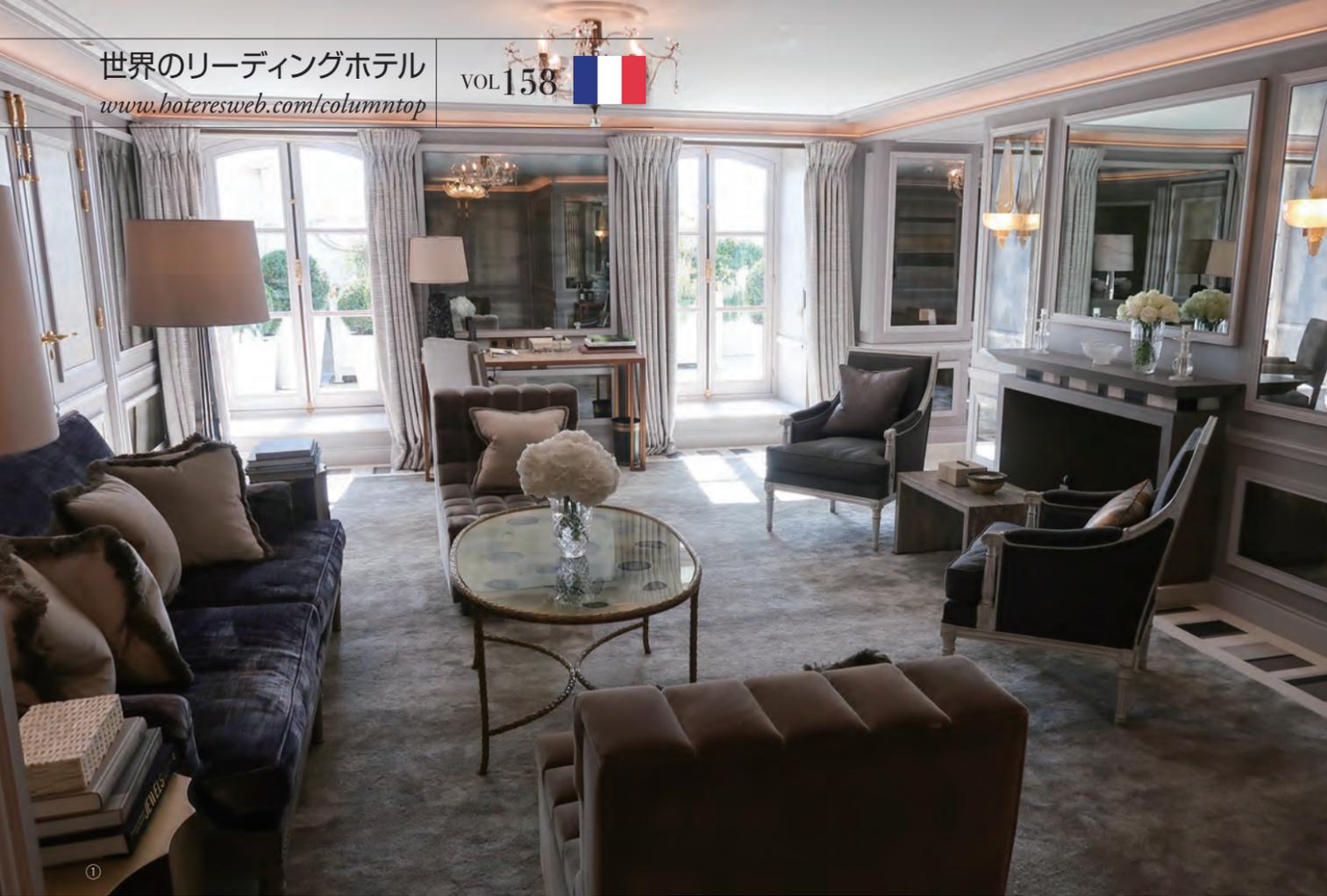


⑥



⑨





- ① シグネチャー・スイート「Suite Bernstein」のリビングルーム。  
クリヨンを愛した著名な音楽家レナード・バーンスタインの名を冠したスイートだ
- ② シグネチャー・スイート「Suite Bernstein」のベッドルーム
- ③ バスアメニティーにはビュリー「Buly1803」が並べられるなど最高の気遣いだ
- ④ シグネチャー・スイート「Suite Bernstein」のダイニングルーム
- ⑤ 「Suite Bernstein」はコージーなテラスが付属するpenthouseスイートだ
- ⑥ スパ施設「SENSE, A Rosewood Spa」にあるゴージャスなスイミングプール。  
水着で寛くサロンといった趣である
- ⑦ ヘアサロン「Hair Salon by David Lucas」のレセプションデスク
- ⑧ メンズグリーミング「The Barber, by La Barbière de Paris」。  
シューシャイン・サロン「Shoe Care Salon, by DEVOIRDECOURT」も併設
- ⑨ 正面エントランス脇にあるクラシカルな回廊

